



CONTENTS

滋賀の街道〔第4回〕

『草津宿本陣』(旧東海道)

草津宿は、江戸から東海道では 52 番目、中山道では 68 番目の宿場町で、東海道と中山道が合流する交通の要衝の地でした。天保 14 年(1843 年)の「宿村大概帳」の記録によれば、南北 7 町 15 間半(約 800m)・東西 4 町 38 間(約 500m)の L 字型の形態をとり、本陣 2 軒・脇本陣 2 軒・旅籠 72 軒の他、問屋場・貫目改所などの多くの建物が建ち並び、多くの旅人で賑わっていました。
写真に写る「田中七左衛門本陣」は、当時の姿をほぼとどめる近世交通史上の記念物として、昭和 24 年(1949 年)に『史跡草津宿本陣』として国の史跡に指定された、現存する東海道随一の本陣です。
現在も宿場町草津のシンボルとし、街道ウォーカー達で日々賑わっています。

- ・ 建築関係 5 団体合同年賀会のお知らせ……………2
- ・ 公益法人への移行についての中間報告
- ・ 家族親睦事業
神戸で最新テクノロジーと外国文化を一緒に体験しよう！
事業報告……………3
- ・ 機関誌「家」2010 年号
作品・原稿・広告募集のご案内
- ・ 第 30 回 近畿建築祭
「和歌山大会」参加報告……………4
- ・ フォトコンテスト作品募集…5
- ・ 第 5 回 おおつ塾
『風景をつくる素材と技』
～瓦～……………6
- ・ 支部だより……………7
甲賀支部・湖北支部・湖西高島支部
- ・ 12 月の暦……………8
- ・ 田中みきおさんの中米見聞録
(第 2 回)
- ・ 滋賀の街道

建築関係 5 団体合同年賀会のお知らせ

新年恒例となっております、《平成 22 年 新春の集い》を建築関係団体と合同で開催いたします。ぜひご出席くださいますようお願い申し上げます。

- 開催日：平成 22 年 1 月 14 日(木)
- 会場：大津プリンスホテル コンベンションホール「淡海」
大津市におの浜 4-7-7 TEL：077-521-1111
- 受付：15：30～
- 年賀会：16：00～
- 会費：5,000 円
- 交通手段：大津駅前よりホテルのバスをご用意しております。
ご利用下さい。
大津駅日本生命ビル(琵琶湖側へ 50 m先)発
① 15：10 ② 15：30(シャトル便) ③ 15：40
- 申込方法：同封のはがきをご出席していただきける方のみご投函下さい。
一事務所もしくは一事業所から何名ご出席していただいてもかまいませんが、必ずご出席くださいます方全員のお名前をご記入下さい。
- 申込締切：平成 21 年 12 月 22 日(火)



- 共催団体名 (社)滋賀県建築士会 (社)滋賀県建築士事務所協会 (社)滋賀県建築設計家協会
(社)日本建築家協会近畿支部滋賀地域会 滋賀県建築設計監理事業協同組合

公益法人への移行についての中間報告

構築・連携特別委員会

当委員会において行っております公益法人への移行検討についての中間報告を行います。公益法人への移行を目指した検討については、第 3 回理事会において承認され、現在、当委員会において暗中模索ながら検討作業を行っているところであります。

去る 11 月 10 日に主管課である滋賀県総務課と公益法人への移行に向けて協議を行いました。その結果、今までに会員の方から質問や心配をされていたいくつかの点について回答を得られましたのでその報告させていただきます。

まず、支部の活動においては、公益法人に移行しても今まで通りで制約等は受けないで行うことができ、支部の予算等についても本部予算とは切り離して制約を受けることなく執行できる見通しです。また、理事会等の役員については、外部から招致する必要はなく現行の建築士会の会員から役員を選出できるとのことでありました。その他、建築士会会員及び会員以外の建築士を対象とした事業については公益目的事業に該当（公益目的事業 50% 以上必要）するとの回答を得ることができました。

これからも滋賀県総務課との協議を重ねて移行準備の検討を進めていきたいと考えておりますので、会員各位のご協力等よろしくお願い申し上げます。



神戸海洋博物館 & カワサキワールドと南京町 神戸で最新テクノロジーと外国文化を一緒に体験しよう！ 事業報告

10月31日（土）快晴の秋晴れの中、会員及び会員家族31名で神戸へと出発しました。

当日は観光シーズンで交通渋滞もあり時間予定を少々変えながらの家族親睦事業となりました。まず始めに「神戸海洋博物館 & カワサキワールド」へ！ここでは「現在から未来の神戸港」及び「歴史から見た神戸港」をテーマにした展示物と川崎重工工業の企業ミュージアムの見学。歴史ある船の展示からバイク・新幹線・航空技術までが展示しており、新幹線などの実物大展示と運転体験などができるブースもありました。



小さなお子さんは大きなバイクに乗って記念撮影を楽しんだり楽しい見学となりました。

見学終了後は神戸メリケンパークオリエンタルホテルでランチバイキング！ちょうどハロウィンということで、パンプキン料理などもあり盛りだくさんな内容でした。

仮装したお子さんもいて楽しい雰囲気でお料理もおいしく、お腹も心も満たせました！

昼食後は7月にオープンしたばかりの「アシックススポーツミュージアム」を見学。

オリンピックでのアシックスの歴史や野球選手イチローのスパイクなどの展示があり案内の方の話を興味深く聞きました。また、映像と光で実際のトップアスリートのすごさが表現されていました。マラソン用の軽量シューズなどを手に取った時はその軽さに皆「おお～」と感心していました。

そして最後は南京町 & 旧外国人居留地での見学とフリータイムでした。

洋館のたたずまいが素晴らしくまた、新しいファッションの発信地である神戸の街並み。

お洒落を目で満喫したと言うところでしょうか。まだ早いですが神戸ルミナリエ会場なども見ることができました。南京町ではまるでそこに中国が広がるかの如く別世界に入ったような感覚で人々の活気と中国の装飾と雰囲気を楽しみました！お土産もたくさん買えました！

帰りのバスではビンゴゲームも開催！！素敵なプレゼントを手にみなさん喜んでいただけたのではないのでしょうか！

以上交通渋滞で順序を変えての行程でしたが全ての予定を終了し、皆さまのご協力もあり到着予定時間も早めに帰ってくる事ができました。何事もなく無事楽しく家族親睦事業を終了いたしました。ありがとうございました！

機関誌「家」2010年号作品・原稿・広告募集のご案内

機関誌「家」2010年号にて掲載いたします『WORKS（会員の作品）』『会員の声』と会員並びに関係企業様の広告の募集を行っております。皆様のご協力をお願い申し上げます。

■ サイズ・内容：〔WORKS〕A4サイズ1P・1/2P・1/6Pまで

〔会員の声〕1600字程度（写真、説明資料を含む）とし、日常の業務や、社会の事、趣味や家族の事等内容は問いません。

〔広告〕表紙3面A4サイズ1P、普通紙A4サイズ1P・1/2P・1/4P・1/6P・1/12Pまで

■ 募集期間：平成22年1月末日

■ 送付方法：原稿をメール又は郵送にて下記までお送り下さい。

■ 送付先住所：〒520-0801 大津市におの浜1-1-18 建設会館3F（社）滋賀県建築士会事務局 機関誌係
FAX：077-523-1602 E-mail：shiga-sa@mx.bw.dream.jp

※詳細は応募要項をご覧ください。

※応募要項は建築士会事務局、またはホームページから入手できます。

第30回 近畿建築祭「和歌山大会」参加報告



大会会場での記念撮影

11月21日(土)平成21年度近畿建築祭が和歌山県で開催されました。
滋賀士会からは湖東支部さんの18名を含め総勢35名での参加となりました。

【第1部 講演会・式典】

午前10時30分より式典に先立ち講演会が行われました。講演は湯浅町教育長垣内氏による『湯浅小学校講堂の歴史』京都大学准教授神吉氏による『湯浅・広川町について』が行われました。

11時50分から式典が行われ、和歌山県建築士会中野会長の挨拶に続き、大会旗が滋賀県建築士会山本会長に引継がれました。

来年は近畿建築祭滋賀大会です。皆さんの協力をお願い致します。

【第2部 昼食・エキスカージョン】

昼食終了後、13時15分よりエキスカージョンが開始されました。

湯浅・広川の伝統建造物保存地区の見学会が行われました。湯浅町は日本の醤油発祥の地として知られています。その中でも醤油醸造業の最も盛んであった一帯の町屋や土蔵等の伝統的な建造物がよく残されている「北町」「鍛冶町」「中町」「濱町」を中心に見学を行いました。また、広川町では安政大地震の津波から村人を救った物語「稲むらの火」のモデル。そして広川町出身の明治時代の実業家「濱口梧陵」が造った広村堤防と「稲むらの火の館」「津波防災教育センター」の見学を行いました。湯浅・広川共ボランティアガイドの方の説明が有り、大変盛たくさんで有意義な見学が出来たと思います。

大会には早朝(彦根6時40分)からの出発となりましたが、途中3連休の初日という事もあり交通渋滞に巻き込まれ、大会へは約20分の遅参となり山本会長をはじめ大会関係者、参加者の皆様に大変ご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。また帰りも事故渋滞に巻き込まれ長時間のバス旅行となりました。重ねてお詫び申し上げます。

来年は近畿建築祭滋賀大会です。式典を米原で行い、湖北エリアと彦根エリアの2コースでの見学会を考えております。皆さんの御協力お願い致します。



講演会場の様子



見学会の様子

フォトコンテスト

作品募集

(社)滋賀県建築士会では、フォトコンテストを開催いたします。
今年のテーマは1部「フリー」、2部「水」で募集します。

環境問題がさげばれている今、川や湖などの水を通して人と水の関わりをとらえていただければと思います。
会員の皆様の自慢の作品をお待ちしております。

■作品のテーマ

- 1部「フリー」(風景・ペット・建物などテーマは問いません)
- 2部「水」

■応募要項

- 応募資格：特に制限は致しません。
但し、作品は自作に限ります。
- 応募作品：4つ切(カラー・モノクロ)、ワイドタイプ可
作品は未発表のものに限ります。
また撮影時期、応募点数は問いません。
- 審査：主催団体が実施します。
- 表彰：大賞 賞金1万円
入選 賞金5千円
- 募集期間：平成21年9月～12月
- 発表：平成22年5月頃に、機関誌「家」及び
滋賀県建築士会HP (<http://www.kentikushikai.jp/>)にて発表
- 応募方法：下記応募票に必要事項をご記入していただき、作品の裏面に糊付けの上、
(社)滋賀県建築士会事務局までご持参頂くか、郵送にてお送りください。
- 送り先：〒520-0801 大津市におの浜1-1-18 建設会館3F
(社)滋賀県建築士会「フォトコン係」 TEL：077-522-1615
- 応募細則：1. 入選作品の著作権は、主催者に帰属します。選外作品であっても使用することがあります。
肖像権などについては、応募者の責任に於いて了解が得られているものとします。
2. 応募作品は返却いたしません。ただし返却希望者には郵便切手(500円)を同封頂ければ返却いたします。
3. 応募票に記載された個人情報、当コンテスト以外には使用いたしません。
4. 応募は会員・会員の家族とさせていただきます。
- 主催団体：社団法人 滋賀県建築士会



2008年 大賞「やったね」

滋賀県建築士会 2010年 フォトコンテスト応募票

作品名			テーマ		
コメント					
応募者氏名			撮影場所		
会員氏名			撮影年	年	
住所	〒	連絡先			

第5回 おおつ塾

～知っているようで知らないことまだまだあります～ 『風景をつくる素材と技』 ～ 瓦 ～

日本の美しい風景をつくってきた風土素材のひとつである粘土瓦。建築着工棟数が減少するなか、建物の多様化、洋風化ならびに震災被害の影響もあり、粘土瓦の使用が減少しています。このままでは、日本文化の象徴でもある瓦屋根がなくなるのでは・・・。

そこで今回おおつ塾では、建築士会大津支部青年委員会と瓦工事協同組合青年部と共同で、粘土瓦の良さや、瓦屋根について知識を深めることで、粘土瓦は日本文化の一つであることを再認識するべく、瓦についての勉強会を開催いたします。

大津支部以外の方も
多数の御参加を
お待ちしております。

●日 時：平成22年1月16日(土)

*受付 13:00～

*第一部 13:30～15:00

『瓦』に学ぶ 粘土瓦について

*第二部 15:00～16:30

『瓦』に親しむ 瓦工事の実演と実習

講習会終了後合同懇親会を行います。

参加費 3,000円程度

●場 所：滋賀県瓦工事協同組合
守山市木浜町100番地 TEL:077-585-3600

●参加費：無料 ※懇親会費は別途

●定 員：30名

●申込締切：平成22年1月12日(火) ※定員になり次第締め切らせていただきます。

●当日連絡先：090-9161-1269(木村)

●お申込先・お問合せ先：

大津支部事務局 石倉工務店内 TEL:077-523-0537(非通知不可) FAX:077-527-3764



(社) 滋賀県建築士会 大津支部 青年委員会、(社) 全日本瓦工事業連盟 滋賀青年部 共同主催

「第5回 おおつ塾『風景をつくる素材と技』～瓦～」参加申し込み用紙

支 部 名	お 名 前	会 社 名	ご 住 所	連絡先(FAX)	合同懇親会
					参加・不参加
					参加・不参加
					参加・不参加
					参加・不参加

※合同懇親会はどちらかに○印をお願いいたします。

お申し込みはFAXにて・・・大津支部事務局 石倉工務店内 <FAX.077-527-3764>

甲賀支部

水口城跡・水口城資料館

小堀遠州が築城した「碧水城(へきすいじょう)」

水口城は徳川家光の上洛にあわせて小堀遠州(こぼりえんしゅう)が築いた城で、以来水口藩2万5千石の加藤氏の居城として栄えました。湧水を利用した美しい外堀があることから、「碧水城」の別名を持っています。

昭和47年に滋賀県の史跡に指定され、明治7年に廃城となった水口城の一部残った櫓(やぐら)の上に角櫓を復元して、平成3年に水口城資料館を開館し、武具や資料、築城当時の100分の1の模型といった、水口城に関する資料が展示され、貴重な文化遺産を後世に伝える場になっています。



湖西高島支部

高島市探訪 〈旧高島町エリア〉その2

戦国時代、旧高島町エリアは、織田信長の甥である織田信澄が築城した大溝城の城下町として発展しました。今でも古い街並や町割用水路など、城下町の面影を残しています。また優れた近江商人を輩出した土地でもありました。中でも、近世から近代初頭にかけて活躍した「小野組」は有名で、明治時代には、三井組と肩を並べるほどの豪商でした。大溝の街角には、今もどっしりした商家の建物が残り、当時の繁栄ぶりをしのばせています。最近では、商家を改造した「びれっじ」も開館。観光客の人気のスポットになっています。

【小野組】初代小野善助に始まり、「井筒屋」を名乗った江戸時代の豪商。明治維新時に三井組と共に政府の御為替方として働き、三井と第一国立銀行を創立する。



古い街並みと町割用水路



商屋を改造したびれっじ

湖北支部

水の都大阪探訪～中之島近代建築と大阪名建築深検クルーズ研修～&新春家族ボーリング大会のご案内

平成21年度湖北支部研修旅行を、10月22日(木)に開催し、大阪の名建築を探訪しました。中之島界隈近代建築の、中之島図書館・旧中之島公会堂・日本銀行大阪支店と大阪の都市住居に関する歴史と文化をテーマとする住まいの博物館 大阪くらしの今昔館の見学と、遊覧船で大阪の街並みを水上から探訪しました。

中之島図書館は、ネオバロック様式の建物で、住友家の建築技師・野口孫市氏と日高胖氏によって設計され、明治37年に住友家の住友吉左衛門氏寄付によってつくられた国の重要文化財、館内のドーム天井のステンドグラスが映える天窓と回廊へ通じる階段のある中央ホールなど見学し図書館の歴史などを説明して頂きました。

日本銀行大阪支店の旧館は明治36年に明治建築界の第一人者で東京駅の設計者でもある辰野金吾氏の設計で建てられ明治建築のネオバロック様式を用いたモダンな建物。現在は補強改修がされ内部は、部分保存で当時の貴賓室や階段ホールなどが、残されています。建物の事やお金の事などとても詳しく館内を案内して頂きました。

なにも探検クルーズでは遊覧船で食事をしながら、落語家の案内で楽しく建物・橋・水門など、数々の名所をクルージングしました。パナマ運河のような水門や非常に低い橋の下の通過はスリルがありました。普段とは、違う目線から街並みを見ることができました。

普段見られない所をたくさん見学ができて楽しい研修でした。



今回も新春家族ボーリング大会を下記の要領で企画させていただきました。皆様ふるってのご参加お待ちしております。

- 開催日時：平成22年1月23日(土) *15:30…受付 *16:00…スタート(2ゲーム) *18:00…表彰式並びに懇親会 *19:00…終了予定
- 開催場所：長浜スプリングレーズ TEL：65-4008 CAN'S CITY2(風の街) ●参加費：1人 ¥500円(貸靴代込)
- 参加資格：士会員並びにご家族の皆様、賛助会員並びに社員の皆様
- その他：賞品・参加賞。懇親会はオードブルの用意をしています。*ご希望のお子様及び女性にはハンディが付きます。
- 参加申込み：下記用紙に記入の上、平成21年12月26日(土)までにFAXにてお願いいたします。FAX先：63-8795〔(株)材光工務店 北村宛〕

湖北支部 新春家族ボーリング大会の申し込み用紙

氏名	性別	学年(小・中学校)	ハンディ希望

連絡先電話番号

(できるだけ携帯の番号をお願いします。)

お申し込みはFAXにて・・・

(株)材光工務店 北村宛
〈FAX.0749-63-8795〉

12月の暦

1	火	赤口		11	金	仏滅	●四役会 ●評議員会	●理事会 ●OB懇親会	22	火	大安	
2	水	先勝	●業務報酬基準・工事監理 ガイドライン講習会 ●機関誌「家」特別委員会	12	土	大安			23	水	赤口	天皇誕生日
				13	日	赤口			24	木	先勝	
3	木	友引		14	月	先勝			25	金	友引	
4	金	先負	青年部 運営委員会	15	火	友引			26	土	先負	
5	土	仏滅		16	水	大安			27	日	仏滅	
6	日	大安		17	木	赤口	第三期 定期講習		28	月	大安	
7	月	赤口	情報広報委員会	18	金	先勝			29	火	赤口	年末休暇
8	火	先勝		19	土	友引			30	水	先勝	↓
9	水	友引		20	日	先負			31	木	友引	
10	木	先負		21	月	仏滅						

ドミニカ通信

田中みきおさんの中米見聞録

第2回

コンデ門 〈Puerta Del Conde〉

コンデ通りの終点がコロンブス公園ならここはその起点になる。この門の内側が旧市街で世界遺産に選定された地域である。外側の独立記念公園との接点にある。

この門には門番がいる。中世の面影を残す外部からの侵入者を厳しくチェックした門番は衣装だけが当時を彷彿とさせる。今は観光客にとっての格好のカメラの被写体である。



この扉の先は旧市街、世界遺産選定地区の入り口である。手前の基準点は、この国の基準点、さしずめ日本なら東京日本橋1丁目である。



旧市街側(東)から見たコンデ門。閩兵は東を向いて立っている。



滋賀の街道

草津宿本陣 (草津市)

『史跡草津宿本陣』に残る宿帳「大福帳」には、日本の歴史の表舞台に登場し、脚光を浴びた多く人物の名前が記されています。元禄赤穂事件(忠臣蔵)で有名な浅野内匠頭と吉良上野介が1日違いで、また、皇女和宮やシーボルト、新撰組の土方歳三・斉藤一・伊東甲子太郎らも宿泊しています。

そして、松江藩の定宿でもあったため、「松平出羽守宿」「松平出羽守休」と書かれた関札が多く残っています。そのため今も草津宿本陣の門前には「松平出羽守宿」の関札が掲げられています。

この他にも、草津宿本陣は現在、「物入」と「御除ヶ門(乾門)」の保存修復工事が行われています。

